

**製品名: NIFK (リン酸化 Thr234) ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab05111**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:20000-1:40000
分子量	

**抗原情報**

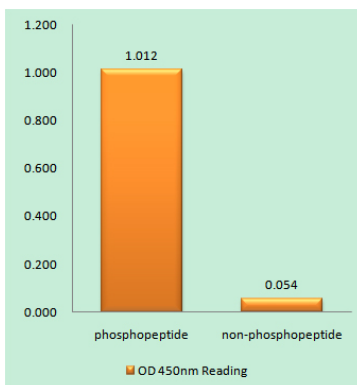
遺伝子名	MKI67IP MKI67IP; NIFK; NOPP34; MKI67 FHA domain-interacting nucleolar phosphoprotein;
別名	Nucleolar phosphoprotein Nopp34; Nucleolar protein interacting with the FHA domain of pKI-67; hNIFK
遺伝子 ID	84365.0
SwissProt ID	Q9BYG3
免疫原	抗血清は、ヒト NIFK の Thr234 のリン酸化部位周辺の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 200-249

## 背景

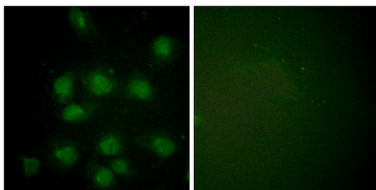
この遺伝子は、Ki-67 抗原のフォークヘッド関連ドメインと相互作用するタンパク質をコードしています。コードされているタンパク質は RNA に結合し、有糸分裂および細胞周期の進行に関与している可能性があります。複数の擬遺伝子が 5 番、10 番、12 番、15 番、19 番染色体上に存在する可能性があります。[RefSeq 提供、2009 年 1 月]、PTM: Thr-238、Thr-234、Ser-230 が順にリン酸化されます。Thr-234 は Thr-238 がリン酸化されている場合にのみリン酸化されます。同様に、Ser-230 のリン酸化には Thr-234 と Thr-238 のリン酸化が必要です。リン酸化は MKI67 の結合を強化する。類似性:1 つの RRM (RNA 認識モチーフ) ドメインを含む。細胞内局在:MKI67 と共に有糸分裂染色体に局在する。サブユニット:MKI67 の FHA ドメインに結合し、この相互作用は有糸分裂で強化される。

## 研究分野

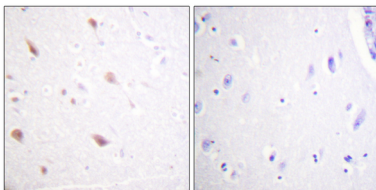
## 画像データ



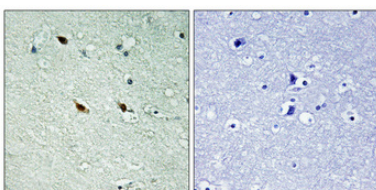
NIFK (リン酸化 Thr234) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定法 (リン酸化 ELISA)



NIFK (リン酸化 Thr234) 抗体を用いた HUVEC 細胞の免疫蛍光染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした画像です。



NIFK (リン酸化 Thr234) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4℃、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。